

ファイルシステム

概要・基本設定	2
物理デバイス	2
ファイルシステム	2
ファイル名	2
ワイルドカード	3
ファイルの操作	3
コマンドリファレンス編	6
機能別コマンド索引	6
COPY	7
DELETE FILE	8
SHOW FILE	9

概要・基本設定

本製品の2次記憶装置とファイルシステムについて説明します。

物理デバイス

本製品は、システム再起動後もデータが保持される2次記憶装置として、フラッシュメモリーを搭載しています。

フラッシュメモリー上には独自のファイルシステムが構築されており、ファイル単位でデータにアクセスすることが可能です。詳しくは次節「ファイルシステム」をご覧ください。

フラッシュメモリーは一般的なコンピュータのハードディスクに相当する記憶装置です。通常のファイル操作はこのメモリーに対して行います。フラッシュメモリーには、ファームウェアファイル、設定スクリプトファイルなどが格納されます。

ファイルシステム

本製品では、フラッシュメモリー上にファイルシステムが構築されており、物理デバイス上のデータを「ファイル」としてアクセスすることが可能です。

ファイル名

ファイル名は次の形式で表されます。

filename.ext

filename	ファイル名。文字数は拡張子、および拡張子の区切り文字ピリオド[.]を含め、1～15文字。指定可能文字は、半角英数字とハイフン[-]、アンダーバー[_]、ピリオド[.]、開始丸かっこ[(]および閉じ丸かっこ[)]です。大文字小文字は表示上は区別されますが、実行・削除上は区別されません。
----------	--

表 1:

次におもな拡張子の一覧を示します。

拡張子	ファイルタイプ
cfg	設定スクリプトファイル。システムの設定情報を保存します。scpとの間に明確な区別はありませんが、慣例として設定内容を保存するスクリプトにはcfgを使います。
scp	実行スクリプトファイル。cfgとの間に明確な区別はありませんが、慣例としてトリガースクリプトやバッチファイルのようなスクリプトにはscpを使います。

表 2:

📁 フラッシュメモリー上のファイルシステムには、ディレクトリー（フォルダー）の概念はありません。したがっ

て、コマンドでファイル名を指定するときに、「/dirA/subdirA/test.cfg」のようなディレクトリーパスを含む指定は不要です。

ワイルドカード

ファイル进行操作するコマンドの中には、ワイルドカード (*) を使って複数のファイルを一度に指定できるものがあります。ワイルドカード (*) は「任意の文字列」を示すもので、次のように使います。

■ ファイル名が test から始まるファイルをすべて表示

```
SHOW FILE=test* ↵
```

■ テキストファイル (.txt) だけを一覧表示

```
SHOW FILE=*.txt ↵
```

🔗 ワイルドカード (*) を使ってファイルを削除するときは、必要なファイルまで削除してしまわないよう十分にご注意ください。

🔗 ワイルドカード (*) はファイル名の先頭または一番最後のどちらかに 1 つだけ使用できます。複数指定 (*.test.*) や中間一致 (foo*.cfg) は使えません。

■ ワイルドカードが使えるコマンドは以下です。

- DELETE FILE コマンド (8 ページ)
- SHOW FILE コマンド (9 ページ)

ファイルの操作

おもなファイル操作についてコマンド例を示します。

■ ファイルの一覧は、SHOW FILE コマンド (9 ページ) で表示できます。

```
SHOW FILE ↵
```

■ 特定ファイルの一覧を見たいときはワイルドカードを使います。

```
SHOW FILE=*.scp ↵
```

■ ファイルの内容を見るには、SHOW FILE コマンド (9 ページ) で (ワイルドカードを用いない) 実際のファイル名を指定します。ただし、SHOW FILE コマンド (9 ページ) で内容を表示できるのはテキスト形式のファイル (.txt、.scp、.cfg など) のみです。

```
SHOW FILE=mitai.cfg ↵
```

■ ファイルを削除するには DELETE FILE コマンド (8 ページ) を使います。ワイルドカード (*) で複数ファイルをまとめて削除することも可能です。

```
DELETE FILE=iranai.cfg ↵
DELETE FILE=*.txt ↵
```

- 📎 ワイルドカード (*) を使ってファイルを削除するときは、必要なファイルまで削除してしまわないよう十分にご注意ください。

- 📎 削除したファイルを元に戻すことはできません。ファイル操作時は十分注意してください。

■ ファイルをコピーするには **COPY** コマンド (7 ページ) を使います。

```
COPY current.cfg backup.cfg ↵
```

■ **LOAD** コマンド (「アップロード・ダウンロード」の 10 ページ) を使って、別のコンピュータからファイルをダウンロードできます。次の例では TFTP サーバー (192.168.1.11) から **long.scp** をフラッシュメモリにダウンロードしています。

```
LOAD FILE=long.scp SERVER=192.168.1.11 ↵
```

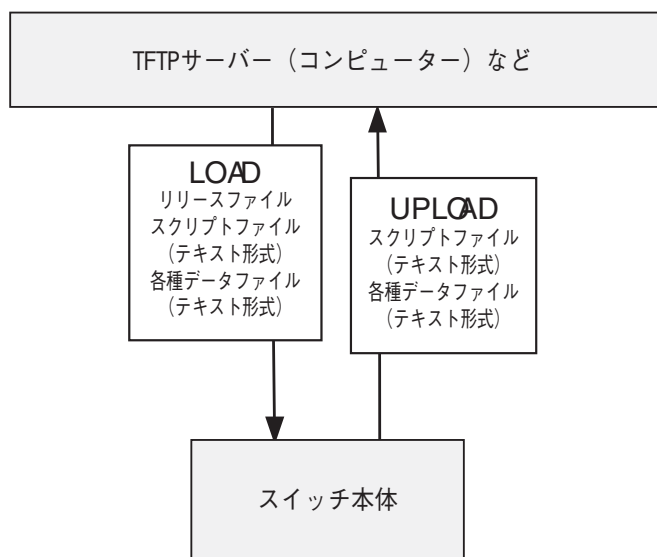
■ **UPLOAD** コマンド (「アップロード・ダウンロード」の 20 ページ) を使うと、テキスト形式のファイルを TFTP サーバーにアップロードできます。次の例では、設定スクリプト **taisetsu.cfg** を TFTP サーバーにアップロードします。

```
UPLOAD FILE=taisetsu.cfg SERVER=192.168.1.11 ↵
```

- 📎 TFTP サーバーの実装 (UNIX 系 OS の **tftpd** など) によっては、サーバー上にあらかじめファイルを作成しておかないとファイルのアップロードができないものがあります。これは、ファイルの新規作成に失敗するためです。このような場合は、サーバー上で空のファイルを作成し、すべてのユーザーに書き込み権限を与えてからアップロードしてください。

```
UNxXOS[1]# cd /tftpboot
UNxXOS[2]# touch karappo.cfg
UNxXOS[3]# chmod 666 karappo.cfg
```

次の図は、ファイル操作のイメージ図です。



コマンドリファレンス編

機能別コマンド索引

概要・基本設定	
COPY	7
DELETE FILE	8
SHOW FILE	9

COPY

カテゴリー：ファイルシステム

COPY *sourcefilename destinationfilename*

sourcefilename: コピー元のファイル名（ピリオドと拡張子を含み 15 文字まで。半角英数字、およびハイフン [-]、アンダーバー [_]、ピリオド [.]、開始丸かっこ [(], 終了丸かっこ [)] が利用可。大文字・小文字の属性は無視されるが、表示には大文字・小文字の区別が反映される

destinationfilename: コピーしたあとのファイルに付けるファイル名（ピリオドと拡張子を含み 15 文字まで。半角英数字、ハイフン [-]、アンダーバー [_]、ピリオド [.]、開始丸かっこ [(], 終了丸かっこ [)] が利用可。大文字・小文字の属性は無視されるが、表示には大文字・小文字の区別が反映される

解説

ファイルをコピーする

入力・出力・画面例

```
Manager > copy system.cfg system_bak.cfg

Operation successful.
```

例

■system.cfg ファイルを複製する

```
COPY system.cfg system_bak.cfg
```

備考・注意事項

スクリプト属性（.SCP または.CFG が拡張子）のファイルをデータ属性（スクリプト属性以外の属性）のものとしてコピーすることはできない。たとえば、test.cfg を test.txt にコピーしたり、test.txt を test.cfg にコピーすることはできない。属性は、パラメーターなしに SHOW FILE コマンドを実行した際に表示される、Attribute 欄で確認できる

関連コマンド

DELETE FILE (8 ページ)

SHOW FILE (9 ページ)

DELETE FILE

カテゴリー：ファイルシステム

DELETE FILE=filename

filename: ファイル名またはファイル名パターン（ワイルドカード）。ワイルドカード（*）は *filename* の前後のいずれかに、1つのみ使用できる

解説

ファイルを削除する

パラメーター

FILE 対象となるファイル名

入力・出力・画面例

```
Manager > delete file=test.txt  
  
Operation successful.
```

例

■ 「test.txt」というファイル名のファイルを削除する

DELETE FILE=test.txt

■ 「test」で始まるファイル名のファイルを削除する

DELETE FILE=test*

関連コマンド

COPY (7 ページ)

SHOW FILE (9 ページ)

SHOW FILE

カテゴリー：ファイルシステム

SHOW FILE [=filename]

filename: ファイル名またはファイル名パターン（ワイルドカード）。ワイルドカード(*)は filename の前後のいずれかに、1つのみ使用できる

解説

ファイルシステム上のファイル一覧、あるいは指定したテキストファイルの内容を表示する

パラメーター

FILE 対象となるファイル名。省略時はファイル一覧を表示する。指定した場合、該当ファイルがテキストファイルならその内容が表示される

入力・出力・画面例

```

Manager > show file

Filename      Device      Size      Attribute
-----
system.cfg    flash       43        script
memo.txt      flash       128       data
-----

Manager > show file=memo.txt

File : memo.txt

1:How to transfer firmware with a TFTP
2:load method=tftp file=fs800.pkg server=192.168.1.1 firmware
3:

```

Filename	ファイル名
Device	ファイルの格納場所。フラッシュメモリー（flash）のみ
Size	ファイルサイズ（byte）
Attribute	設定ファイル（script）またはデータファイル（data）。ファイル名の最後が「.cfg」か「.scp」の場合、設定ファイルとみなされる

表 3:

例

- ファイル名とその情報を一覧表示する

SHOW FILE

- ファイルの内容を表示する

SHOW FILE=memo.txt

- 拡張子.cfg の設定ファイル名を一覧表示する

SHOW FILE=*.cfg

- test で始まるファイル名を一覧表示する

SHOW FILE=test*

関連コマンド

COPY (7 ページ)

DELETE FILE (8 ページ)